

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	交際費支出事務(市長助役)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	企画部	課等名	秘書広報文書課		包含する細々目	1	2	1	8	10	2	4,000
政策	9 市民と共に進める行政経営											
施策	93 良質な行政サービスの提供											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	必要	関連計画		条例等				
		事業期間		年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市政	飯田市:自治体	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			1		1		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	透明性を高め、円滑に運営される	やらまいか提言の数:件	18目標	最終目標			
			18実績	241	19目標	220	↑
			23目標	200	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	交際費支出基準に基づき、透明性の高い、適正な支出を行う。	市長、副市長、収入役及びその他の職員(市長等)が、飯田市を代表して市以外の者と交際するために必要な費用を支出する。 交際費の種類 ・会費・祝金・弔意・見舞い・懇談費・雑費	交際費支出件数:件	253件
	18年度の実績			
	19年度計画	市長、副市長、収入役及びその他の職員(市長等)が、飯田市を代表して市以外の者と交際するために必要な費用を支出する。 交際費の種類 ・会費・祝金・弔意・見舞い・懇談費・雑費	交際費支出件数:件	250件

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	1,619	4,000
事業費計(A)	1,619	4,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 130	19年度 125
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	465	447
	トータルコストA+B	2,084	4,447

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市役所が行う行政サービスが的確に提供されること	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合	現状値	61.6	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	75
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 市政運営についての助言・指導・協力等をいただける方々との交際の必要性を認めるため。	事業を取り巻く状況の変化 昨今、市長交際費に対する関心が高まってきており、毎年情報公開請求が出されるようになった。より一層透明性の高い、適正な支出が求められている。	事業に対する市民や議会の意見 市長交際費の公表を率先して行うべきとの新聞報道あり。(南信州新聞 日言)
--	---	--

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 行政が円滑に運営されることにより、行政サービスの確に提供されることにつながる	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 積極的な公表を行うことにより透明性が高まり、市政に対する信頼度が増す
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 市として行う事業である		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 交際相手に対してバランスを欠いた交際となってしまう
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 透明性の高い行政運営は疑う余地がない		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合可能 (類似事業名、理由) 市の固有事務である
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 市長等が市を代表して行うものである		効率性 評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 可能 (その理由) 交際費支出基準を見直し、前例にとらわれない適正な支出に努めることで削減は可能である
		公平性 評価 受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 市長等が市を代表して行うものであり、適当な支出である	

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <span style="color: green; font-weight: bold;">→</span> 具体化	<b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b> 交際費支出基準を9月までに見直し、透明性の高い、適正な支出に努め、翌年度中にホームページで公表するための準備を行う
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	前例見直しによる廃止事例への十分な説明が必要 公表に伴う市民からの問い合わせへの対応(証拠書類等)

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	